

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1990100891		
法人名	ツクイホールディングス		
事業所名	ツクイ甲府富士見グループホーム		
所在地	山梨県甲府市富士見2-2-26		
自己評価作成日	令和 5 年 11 月 17 日	評価結果市町村受理日	令和 年 月 日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/19/index.php">http://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/19/index.php</a>
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	山梨県社会福祉協議会
所在地	甲府市北新1-2-12
訪問調査日	令和 6 年 1 月 24 日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「常にお客様の立場に立ち心地よい暮らしをサポートいたします。」を理念とし、職員が一体となりお客様の立場に立った支援を心がけています。調理・盛り付け・食器洗い・洗濯・掃除などの家事をできるお客様に自ら行っていただき、ホームの中で役割を持ってその方らしく生活をしていただけるよう支援をしています。1日1回は外の空気にふれていただけるよう、天候やお客様の状態に合わせながら散歩や外気浴をしており気分転換にもつながっています。またその中で地域の方と挨拶を交わしたり地域行事に参加するなどして交流を深めるようにしています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

甲府富士見グループホームの理念「常にお客様の立場に立ち、心地よい暮らしをサポートいたします」は、「利用者様」を「お客様」という概念で接遇しています。お客様に利用していただいているという視点は、社員は何をしなければいけないのか、何を求められているのか投げかけられています。管理者、社員は研修や会議の中で都度確認をしています。お客様の要望には拒否することなく、できる限りの対応をしています。日々の体調に気を付け、毎日の散歩は機能訓練の一助となり、五感を働かせることで刺激され、ストレスの発散にもなっています。住宅地の中を社員と一緒にする散歩は、住民にも理解されお互いに笑顔の挨拶です。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる(参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている(参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある(参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている(参考項目:2,20) <b>(※窓越しの面会など距離をとった交流)</b>	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている(参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている(参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている(参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている(参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている(参考項目:49)(※感染対策を行い、可能な場所に出かけているか)(※戸外とは事業所の庭に出る等も含みます)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている(参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている(参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価および外部評価結果

事業所名 **ツクイ甲府富士見グループホーム**

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名( 雅 )	ユニット名( 華やぎ )	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	入職前に事業所の理念などをお伝えし、理解を頂いている。その理念を基本に統一したサービス提供に努めている。	入職前に事業所の理念などをお伝えし、理解を頂いている。その理念を基本に統一したサービス提供に努めている。	「常にお客様の立場に立ち、心地よい暮らしをサポートします」の理念は事業所に掲示してあります。理念は入職時に社員に説明し、会議の席や日々の業務の中で確認し、運営に当たっています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	天候やお客様の状態をみながら散歩に出かけている。川沿いの広場や地域の方などとの交流はしている。感染症対策を継続しながら交流しており地域行事への参加もしている。	天候やお客様の状態をみながら散歩に出かけている。川沿いの広場や地域の方などとの交流はしている。感染症対策を継続しながら交流しており地域行事への参加もしている。	住宅地の中に事業所があり、お客様と散歩などをすると自然と挨拶を交わします。自治会にも加入し回覧板などお客様と一緒に回したり、地域の行事にも参加しています。近くの床屋さんを利用したりお花を届けてくれる方もおり、日常的に交流しています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	自治会長や民生委員・地域の方へ向けて認知症対応型施設であることを説明・理解して理解をいただける機会を設けている。	自治会長や民生委員・地域の方へ向けて認知症対応型施設であることを説明・理解して理解をいただける機会を設けている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	7月より対面での運営推進会議を再開。2か月に一度開催し、ホームの状況を伝え意見交換を行いサービス向上につなげている。	7月より対面での運営推進会議を再開。2か月に一度開催し、ホームの状況を伝え意見交換を行いサービス向上につなげている。	運営会議のメンバーは市担当者、自治会長、民生委員、地域住民代表、お客様、ご家族と事業所関係者です。ご家族には全員に案内を発送し、多くの参加を求めています。7月から対面の運営会議を開催し、事業所の運営や取り組みを報告しています。委員からの意見や要望は社員も共有し取り組んでいます。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者や日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	毎月、利用者様および待機者の報告をしている。運営についての相談や、事故の報告を行っておりサポートしていただいている。	毎月、利用者様および待機者の報告をしている。運営についての相談や、事故の報告を行っておりサポートしていただいている。	事業所の利用状況や空き情報など連絡を取っています。事故報告もして、けがの状況や家族への報告などアドバイスをしていただいています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介護指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	2か月に一度身体拘束廃止委員会を開催しており、話し合いを行っている。事例検討や会社のテキストによる勉強会も継続して行っている。身体拘束禁止に関する指針を事業内に掲示し職員への周知と意識を高める取り組みも継続して行っている。	2か月に一度身体拘束廃止委員会を開催しており、話し合いを行っている。事例検討や会社のテキストによる勉強会も継続して行っている。身体拘束禁止に関する指針を事業内に掲示し職員への周知と意識を高める取り組みも継続して行っている。	身体拘束廃止委員会を開催し、勉強会を継続しています。「常にお客様の立場に立ち、心地よい暮らしをサポートします」の理念が活かされています。お客様の行動には十分注意をし、帰宅願望者には散歩やドライブなどにお誘いし、直接的な拒否はしていません。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	事項と同様に虐待防止委員会を2か月に一度話し合いを行い、職員への意識向上への取り組みも継続して行っている。	事項と同様に虐待防止委員会を2か月に一度話し合いを行い、職員への意識向上への取り組みも継続して行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修を行い知識を深め、業務の中に活用できるようにしていきたい。	研修を行い知識を深め、業務の中に活用できるようにしていきたい。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時や退去時にご家族に十分な説明を行い、理解をいただいております。	契約時や退去時にご家族に十分な説明を行い、理解をいただいております。		

自己評価および外部評価結果

事業所名

ツクイ甲府富士見グループホーム

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名( 雅 )	ユニット名( 華やぎ )	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情相談窓口を本社・事業所に設けております。契約時には市町村・国保連の相談窓口の案内をしており、当事業所に直接意見などを伝えていただけるような関係性作りを努めています。	苦情相談窓口を本社・事業所に設けております。契約時には市町村・国保連の相談窓口の案内をしており、当事業所に直接意見などを伝えていただけるような関係性作りを努めています。	苦情相談窓口については契約時に説明をしています。運営会議にはご家族全員に案内を出して、多くの参加を求め意見の集約に努めています。委員やご家族の意見、要望は社員も共有して取り組んでいます。家族会もあり、食事会には3家族の参加があり、和気あいあいとした中でもご家族の意見、要望があり、運営に活かしています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月実施しているミーティングの中で意見や提案を一人一人が言えるような環境作りをしています。その中で出た意見や提案をケアに反映できるような取り組みをしています。	毎月実施しているミーティングの中で意見や提案を一人一人が言えるような環境作りをしています。その中で出た意見や提案をケアに反映できるような取り組みをしています。	管理者はミーティングや日々の業務の中で、社員の声を聞いています。意見が出た場合、出来る事はすぐに対応し社員のやる気を引き出しています。意見は社員で共有し、また言いやすい環境に努めています。働きやすい職場を目指し、管理者は職員の勤務などを配慮しています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員のライフスタイルに合わせ勤務時間や希望休に配慮した勤務表作成を心がけています。資格手当の支給や資格取得に関するサポート制度もあり、職員が向上心を持って仕事に臨めるよう努めています。	職員のライフスタイルに合わせ勤務時間や希望休に配慮した勤務表作成を心がけています。資格手当の支給や資格取得に関するサポート制度もあり、職員が向上心を持って仕事に臨めるよう努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内外の研修や行政の研修の案内を職員に周知し、受講ができるように務めています。また事業所内において会社の定期研修をミーティングなどを活用し月に一回行っています。	社内外の研修や行政の研修の案内を職員に周知し、受講ができるように務めています。また事業所内において会社の定期研修をミーティングなどを活用し月に一回行っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他者と合同説明会を開催したり運営推進会議に参加して頂いています。他者と合同作品展や交流会を行い新型コロナウイルスの感染予防を意識しながら交流しています。	他者と合同説明会を開催したり運営推進会議に参加して頂いています。他者と合同作品展や交流会を行い新型コロナウイルスの感染予防を意識しながら交流しています。		
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	担当職員が自宅や施設に伺い、ご本人やご家族から希望や困っている事などニーズの抽出を行っています。不安なく生活が送れるように職員が寄り添い支援をしていくよう心がけています。	担当職員が自宅や施設に伺い、ご本人やご家族から希望や困っている事などニーズの抽出を行っています。不安なく生活が送れるように職員が寄り添い支援をしていくよう心がけています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前にご本人やご家族の思いや希望を伺い思いに沿えるように努めています。入居してからもこまめな連絡や日々の様子を報告しています。特に入居された翌日には、ご家族が安心できるような様子を伝えるように心がけています。	入居前にご本人やご家族の思いや希望を伺い思いに沿えるように努めています。入居してからもこまめな連絡や日々の様子を報告しています。特に入居された翌日には、ご家族が安心できるような様子を伝えるように心がけています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人・ご家族との情報の中から支援に必要な部分の見極めやご本人が生活の中でできる事・行っている事を継続していき、グループホームの生活の中でさらにできる事を増やしていけるような支援をしています。	ご本人・ご家族との情報の中から支援に必要な部分の見極めやご本人が生活の中でできる事・行っている事を継続していき、グループホームの生活の中でさらにできる事を増やしていけるような支援をしています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	生活の中で掃除などの家事や散歩などご本人にできる事を行い、細かな声掛けや交流を図っています。	生活の中で掃除などの家事や散歩などご本人にできる事を行い、細かな声掛けや交流を図っています。		



自己評価および外部評価結果

事業所名

ツクイ甲府富士見グループホーム

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名( 雅 )	ユニット名( 華やぎ )	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、 本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支 えていく関係を築いている	感染症対策を行い短時間の面会が出来る環境を整え ています。また、電話で生活の様子を伝えたり毎月ご 本人の写真付きのお便り渡すことも大事にし継続して います。	感染症対策を行い短時間の面会が出来る環境を整え ています。また、電話で生活の様子を伝えたり毎月ご 本人の写真付きのお便り渡すことも大事にし継続して います。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場 所との関係が途切れないよう、支援に努めている	感染症対策を行いユニット間で交流をしており馴染み の方の面会にも対応しています。	感染症対策を行いユニット間で交流をしており馴染み の方の面会にも対応しています。	感染予防対策を徹底(マスク着用、人数、短時間等)し ながら、交流ルームや相談室を使用して対応をしていま す。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せ ずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような 支援に努めている	入居者様一人一人が孤立しないで、有効な関係を築 いていけるよう職員が細かく関わりながら交流ができて います。	入居者様一人一人が孤立しないで、有効な関係を築 いていけるよう職員が細かく関わりながら交流ができて います。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関 係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族 の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去されてもご家族や地域の相談窓口として役割がで きるよう関係を大切にしています。	退去されてもご家族や地域の相談窓口として役割がで きるよう関係を大切にしています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握 に努めている。困難な場合は、本人本位に検討し ている	計画作成担当者のモニタリングをもとに、職員全員で その方の情報共有・把握に努めています。カンファレ ンスで生活の中で新たに増えてきた事を検討・把握す るようにしています。	計画作成担当者のモニタリングをもとに、職員全員で その方の情報共有・把握に努めています。カンファレ ンスで生活の中で新たに増えてきた事を検討・把握す るようにしています。	契約時お客様の意向や思いを聞いて介護計画に反映 していますが、日々お客様の様子は、話を聞いたり行 動の変化や顔の表情などを見て対応しています。困難 な場合は、これまでの様子を知っているご家族などに相 談をしています。お客様の意向や思いは記録され社員 で共有しています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環 境、これまでのサービス利用の経過等の把握に 努めている	初回の面談時にご本人の生活歴をご本人・ご家族・ CMなどから情報収集しています。入居後もご本人様と の交流の中から理解を深めていけるようしており情 報収集に努めています。	初回の面談時にご本人の生活歴をご本人・ご家族・ CMなどから情報収集しています。入居後もご本人様と の交流の中から理解を深めていけるようしており情 報収集に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する 力等の現状の把握に努めている	1日のご本人の様子や行動の把握を行い申し送りなど で情報を共有しています。また、ミーティングの中でも 情報交換などを行っています。	1日のご本人の様子や行動の把握を行い申し送りなど で情報を共有しています。また、ミーティングの中でも 情報交換などを行っています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方 について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、 それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即 した介護計画を作成している	計画作成担当者を中心に3か月ごとにモニタリングを 行っており、その中でご本人・ご家族の思いを大事にし ながら職員間で検討を行っています。	計画作成担当者を中心に3か月ごとにモニタリングを 行っており、その中でご本人・ご家族の思いを大事にし ながら職員間で検討を行っています。	その人らしく暮らし続けるための介護計画は、管理者、 社員、ケアマネがチームとなって作成されています。三 か月ごとにミーティングで話し合い、お客様・ご家族に変 化があればその都度介護計画の見直しをしています。 社員はユニット全体を把握し、記録などは共有していま す。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を 個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら 実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日、個々のケアプランに沿った記録を残していま す。その記録をモニタリングやカンファレンス時の参 考にしています。	毎日、個々のケアプランに沿った記録を残していま す。その記録をモニタリングやカンファレンス時の参 考にしています。		

自己評価および外部評価結果

事業所名

ツクイ甲府富士見グループホーム

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名( 雅 )	ユニット名( 華やぎ )	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	福祉用具などの他のサービスと連携しご本人やご家族の要望に応えられるように努めています。	福祉用具などの他のサービスと連携しご本人やご家族の要望に応えられるように努めています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の方から絵画をお借りしフロアなどに飾り鑑賞しています。また、定期的に花もいただき生け花や水やりをして楽しんでいただいています。	地域の方から絵画をお借りしフロアなどに飾り鑑賞しています。また、定期的に花もいただき生け花や水やりをして楽しんでいただいています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人・ご家族の希望・要望に沿って往診や必要な受診を行っています。その際に日ごろの様子を伝え情報共有に努めています。	ご本人・ご家族の希望・要望に沿って往診や必要な受診を行っています。その際に日ごろの様子を伝え情報共有に努めています。	契約時に協力医、かかりつけ医の説明をし、お客様・ご家族の希望で決めています。協力医は月1回の往診があります。入院となった場合は紹介状を書いていただいて転院となります。通院はケースバイケースで社員が支援する場合と、ご家族が連れていく場合があります。利用者様の様子をきちんと医師に伝え、受診後も社員、ご家族は状況を把握しています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	24時間対応の医療連携体制を整え、看護師が定期的に健康管理を行っています。バイタルチェック・薬に関する相談。排泄・食事の状況についても相談しています。容態の急変時には緊急対応して頂き、オンコール体制を整えています。	24時間対応の医療連携体制を整え、看護師が定期的に健康管理を行っています。バイタルチェック・薬に関する相談。排泄・食事の状況についても相談しています。容態の急変時には緊急対応して頂き、オンコール体制を整えています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時には、同行し必要な情報提供をしています。入院中の経過は電話で病院の連携室や看護師・ご家族に話を聞き把握に努めています。退院時にはサマリーを参考にグループホームで不安なく安全に生活が再開・継続できるようにしています。	入院時には、同行し必要な情報提供をしています。入院中の経過は電話で病院の連携室や看護師・ご家族に話を聞き把握に努めています。退院時にはサマリーを参考にグループホームで不安なく安全に生活が再開・継続できるようにしています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に重度化した場合のグループホームでの対応について、ご家族に説明し同意を得ています。日頃よりご家族・主治医などと情報共有・連携に努めています。	契約時に重度化した場合のグループホームでの対応について、ご家族に説明し同意を得ています。日頃よりご家族・主治医などと情報共有・連携に努めています。	契約時に重度化や看取りについて事業所の指針を説明し、ご家族の同意を得ています。終末期におけるお客様の対応は主治医・ご家族・事業所の話合いで、転院が事業所での対応となります。事業所はお客様とご家族が最後の貴重な時間を過ごされるように支援しています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	事業所内で行う研修や看護師からの指導を行っています。緊急連絡先や緊急時の対応のフォローを掲示しています。	事業所内で行う研修や看護師からの指導を行っています。緊急連絡先や緊急時の対応のフォローを掲示しています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	地震・火災を想定した訓練を年に2回行っています。日中・夜間を想定してすべての職員が対応できるように行っています。	地震・火災を想定した訓練を年に2回行っています。日中・夜間を想定してすべての職員が対応できるように行っています。	災害を想定した訓練が2回実施されています。地震対策では大きいサツンを開け、避難できるようにと具体策を話し合い、社員と共有しています。社員の緊急連絡網は整っており地域の職員もいます。被害を最小限にとどめる対策に取り組んでいます。	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>						
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様一人一人の尊重をしていく事に重きをおき、言葉使いなどには注意して接しています。	入居者様一人一人の尊重をしていく事に重きをおき、言葉使いなどには注意して接しています。	利用者様は「お客様」という理念から管理者・社員(パート含む)はその人らしい姿、ありのままの姿に敬意をもって接しています。入浴やトイレ等は直接的な声掛けではなく、さりげない誘導で支援をしています。一人ひとりの個性を尊重し、羞恥心や不安等に配慮した支援です。	

自己評価および外部評価結果

事業所名

ツクイ甲府富士見グループホーム

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名( 雅 )	ユニット名( 華やぎ )	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人の意思を尊重数するケアを心がけています。入居者様が自己決定ができる支援に努めています。	ご本人の意思を尊重数するケアを心がけています。入居者様が自己決定ができる支援に努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その目をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご本人のペースでグループホームでの生活していけるよう支援しています。お休みの時間などもご本人に聞きながら支援しています。	ご本人のペースでグループホームでの生活していけるよう支援しています。お休みの時間などもご本人に聞きながら支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	2か月に1度美容師がカットに来所しています。その際、ご本人の希望を尊重して頂いています。外出時にはご本人に服を選んでいただくなどの配慮も心がけています。	2か月に1度美容師がカットに来所しています。その際、ご本人の希望を尊重して頂いています。外出時にはご本人に服を選んでいただくなどの配慮も心がけています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	お食事の時は、入居者様に調理や盛り付けなどのお手伝いをして頂いています。食後も食器洗いや食器拭きを一緒に行っています。パンやうどん作りなど入居者様に希望を聞いて楽しんでいただいています。	お食事の時は、入居者様に調理や盛り付けなどのお手伝いをして頂いています。食後も食器洗いや食器拭きを一緒に行っています。パンやうどん作りなど入居者様に希望を聞いて楽しんでいただいています。	調理表に基づいて調理される食事は細部にわたる指示書があり、お客様・社員が関わっています。盛り付けは社員に見守られながらお客様がしています。この時ばかりはと腕を発揮して自信にもつながっています。調理や盛り付けなどは五感で感じながら、食事への関心を高めています。後片付も一緒に「ごちそうさま」です。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の食事量・水分量を記入し把握しています。個々に合わせた食事形態を行っています。必要に応じ常食だけでなくソフト食・栄養保持食品を使用するなどに対応しています。	個々の食事量・水分量を記入し把握しています。個々に合わせた食事形態を行っています。必要に応じ常食だけでなくソフト食・栄養保持食品を使用するなどに対応しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後に歯磨きをして頂けるよう口腔ケアの支援も行っています。必要のある方は歯科と連携し定期的なケアを行っています。	食後に歯磨きをして頂けるよう口腔ケアの支援も行っています。必要のある方は歯科と連携し定期的なケアを行っています。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄のチェック表を用いて、トイレでの排泄ができるように時間での誘導や声掛けを行い失敗を減らす支援をしています。失敗のなくなった方は布パンツに変更するなど自立に向けた支援をしています。	排泄のチェック表を用いて、トイレでの排泄ができるように時間での誘導や声掛けを行い失敗を減らす支援をしています。失敗のなくなった方は布パンツに変更するなど自立に向けた支援をしています。	排泄票をもとにお客様一人ひとりの時間を把握し、行きたい時を見計らってトイレに行かれるように声掛けをしています。できるだけ失敗を防ぎ、リハパン→布パン→自立へと方向付けをしています。あからさまな声掛けではなく羞恥心や不安などに配慮しています。便が三日でない場合は便秘薬の対応をし、すっきりしていただいています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	ヤクルトや乳製品、好みの物を用意し多めの水分摂取を促しています。毎日の散歩や体操する事で自然排便ができるよう心掛けています。	ヤクルトや乳製品、好みの物を用意し多めの水分摂取を促しています。毎日の散歩や体操する事で自然排便ができるよう心掛けています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴日は定めておらず、ご本人の希望や体調に配慮した入浴支援をしています。	入浴日は定めておらず、ご本人の希望や体調に配慮した入浴支援をしています。	入浴日は定めていません。お客様のその日の状態に合わせての入浴となります。週2・3回のペースで、場合によってはそれ以上ということもあります。同性介護を実施し、社員との会話を楽しみながら心地よく入浴をしています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜にしっかり休むことができるよう日中に外気欲や散歩・体操など活動的に過ごせるように支援をしています。	夜にしっかり休むことができるよう日中に外気欲や散歩・体操など活動的に過ごせるように支援をしています。		



自己評価および外部評価結果

事業所名

ツクイ甲府富士見グループホーム

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名( 雅 )	ユニット名( 華やぎ )	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の花薬局と連携しています。薬は薬剤師にセットして頂いており、不明な点などは薬剤師に相談・確認をして対応しています。薬の情報は職員間で共有できるようにしています。	薬の花薬局と連携しています。薬は薬剤師にセットして頂いており、不明な点などは薬剤師に相談・確認をして対応しています。薬の情報は職員間で共有できるようにしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居者様一人一人のできる事や好きな事・得意な事ができるような支援をしています。生け花や花の手入れ・裁縫などもしていただいています。散歩や日常の役割を担っていただいています。	入居者様一人一人のできる事や好きな事・得意な事ができるような支援をしています。生け花や花の手入れ・裁縫などもしていただいています。散歩や日常の役割を担っていただいています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	希望を聞きながら職員が付き添い散歩に出かけています。庭の手入れや花の水やりも行って頂いています。	希望を聞きながら職員が付き添い散歩に出かけています。テラスで日光浴を兼ねお茶会を開いています。	感染症が流行っていることなどを考慮すると、日常的な外出は難しい状況下にあります。散歩など支援をしています。散歩コースもその時々のお客様の要望を聞いて変えています。ご家族が外や食事に連れていくこともあります。車いすなど歩行困難なお客様も散歩していただく支援をしています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	法人の規定により、事業所に現金を置いていけないことになっています。買い物のご希望があった場合はご家族に承諾を得て事業所の立替で購入しています。	法人の規定により、事業所に現金を置いていけないことになっています。買い物のご希望があった場合はご家族に承諾を得て事業所の立替で購入しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	知人の方からのお手紙を届けたり、ご家族からの電話をつなぎお話をして頂いています。	知人の方からのお手紙を届けたり、ご家族からの電話をつなぎお話をして頂いています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	日中は居室で過ごす方も少なく、フロアで過ごす事が多いです。外の景色を眺められるようテーブルを窓の近くに設置しています。テレビの前にはソファを置きみんなでテレビが観られる環境を作っています。	日中は居室で過ごす方も少なく、フロアで過ごす事が多いです。外の景色を眺められるようテーブルを窓の近くに設置しています。テレビの前にはソファを置きみんなでテレビが観られる環境を作っています。	共有スペースはお客様が混乱を招くような不快な刺激は感じられず、落ち着いてそれぞれが思い思いにテレビなどを見たりして過ごされています。調理する場所も広く、トイレやお風呂も安全に配慮されています。誕生会などの写真が展示してあり、お客様の過ごしやすい空間となっています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	席の配慮を行い、会話を楽しまれたり、一緒にテレビを観る時間以外に一人で好きな事ができるような空間作りを心がけています。	席の配慮を行い、会話を楽しまれたり、一緒にテレビを観る時間以外に一人で好きな事ができるような空間作りを心がけています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご自宅で使用していた物や馴染み深い物を入居時に持参して頂いています。ご家族からのプレゼントや写真を居室に飾り、居心地よく過ごして頂けるよう心がけています。	ご自宅で使用していた物や馴染み深い物を入居時に持参して頂いています。ご家族からのプレゼントや写真を居室に飾り、居心地よく過ごして頂けるよう心がけています。	事業所で用意されたものはベッドのみです。自宅とのギャップを少しでも感じさせないように、使い慣れた家具やタンスなど持ち込んで過ごしていただきたいとの事業所の配慮です。部屋には使い慣れた物があり、無邪気に笑いかけるお孫さんやご家族の写真などがあります。お部屋は一人ひとりの顔があります。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物全体がバリアフリーになっています。IHの使用なので火の元の心配はありません。手すりはフロアやトイレ玄関など必要な場所に設置しています。居室には表札、トイレや浴室にも目印を設けてあるので迷う事無く行き来ができるようになっています。	建物全体がバリアフリーになっています。IHの使用なので火の元の心配はありません。手すりはフロアやトイレ玄関など必要な場所に設置しています。居室には表札、トイレや浴室にも目印を設けてあるので迷う事無く行き来ができるようになっています。		